



6月号 令和2年6月1日発行



窪田小たよりの

横浜市都筑区窪田南町694番地 [TEL911-0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]



学校が再開されます ～教育とは、学校の役割とは何か～

校長 伊藤 智樹

5月25日に緊急事態宣言の解除がありました。収束に向けて、新型コロナウイルスの感染リスクがある中でも新型コロナウイルスへの対応に現在も最前線であたっている医療関係者の方々や様々な現場で過酷な業務に就いている皆様に、深く敬意を表します。国内外で、この感染によって多くの方が亡くなりました。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、闘病中の方に心からのお見舞いを申し上げます。

そして、子ども達には先が見通せない状況下で長い自宅学習を強いることになり申し訳なく感じています。保護者の皆様やご家庭の皆様には本来学校が担わなければならない子どもたちへの学習をはじめ様々なサポートを辛抱強く続けてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

緊急事態宣言が解除され、段階的とは言え学校が再開できる状況になりました。日本では感染の収束に向かっているとはいえ新型コロナウイルスが消滅したわけではなく、今後も「コロナとどう共生するかを考えざるを得ない」状況です。感染の第2波が来ることも予想されます。そのような中での学校再開ですが、今回の長期にわたる臨時休業であらためて学校の役割を再認識しました。



教育とは、世界を変えるために用いることができる、最も強力な武器である。

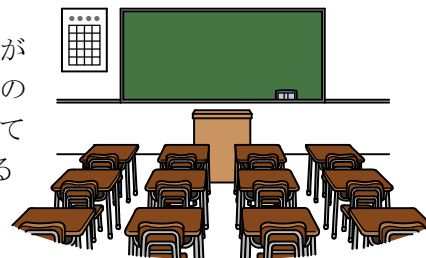
この言葉は、南アフリカ共和国大統領であったネルソン・マンデラのものです。反アパルトヘイト運動の活動家でもあったネルソン・マンデラは、1960年代に国家反逆罪で逮捕され、27年間の投獄生活を送った後、1994年に大統領に就任しました。ノーベル平和賞も受賞しています。自宅で書籍の整理をしていたところ地理の雑誌に掲載されていたものを見つけました。それを読み返しながら、私たち教職員の使命をあらためて認識しました。

ネルソン・マンデラは、上記の言葉に合わせて次のような言葉も言っています。

子どもをいかに育てていくのか、ということほど社会にとって重要な課題はない。

今回学校休業が長期化したことで、あらためて教育とは何か、学校の役割とは何かを問うことになったと思います。教科としての学習内容はもちろんですが、他者とのコミュニケーション力を育む場など様々な学校の機能があることを今回の休業で実感しました。

教室から子どもたちの活発な声が聞こえ、校庭で楽しそうに声を上げながら走り回る子どもたちの姿が見られることが一番です。一日でもはやくそのような子どもたちの姿を見たい、また子どもたちにさせてあげたいと思っています。その一方で子どもたちの健康の安心・安全のため教育現場における「三密」を避ける対策も必要となります。それらを踏まえて6月1日からの段階を経た学校再開になります。



第1期（6月1日～12日）は午前中4時間の分散登校、第2期（6月15日～30日）は午前中4時間で学級全員が揃っての登校、第3期（7月1日～）は給食開始予定で午後の授業もあります。第1期は、登校と家庭学習が隔日となるため、家庭学習日に取り組む課題は、分散登校日にその都度一日分の課題を各学級から子どもたちに提示します。

これまでとまったく同じ学校生活を送れることは難しいですが、コロナ下でも持続可能な教育活動を教職員が知恵を出し合い、安全で楽しい学校生活を送れるように対応を検討しています。